

令和6年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】

提案内容の概要

事業名称：大家、NPO、企業、行政が連携する空家を
活用した弾力的な居住支援モデル

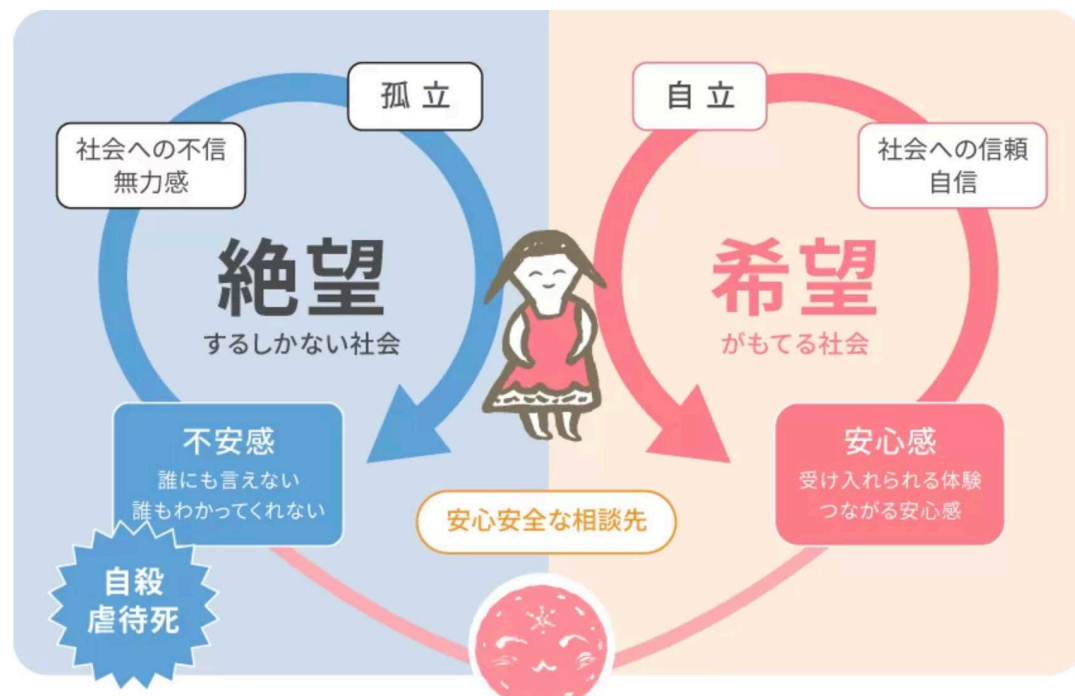
代表提案者：有限会社窪田屋商店

共同提案者：NPO法人全国ひとり親居住支援機構
認定NPO法人ピッコラーレ

1. これまでの取組

NPO法人ピッコラーレ

本プロジェクトに関連する
事業として居所のない妊産
婦の居場所「ぴさら」の運営



だれもが孤立することなく、自由に幸せに生きる権利を奪われることのない社会をめざして、
4つのプロジェクトを基軸に活動をしています。



妊娠葛藤相談

にんしんにまつわる全ての「困った」、
「どうしよう」に寄り添い、相談者が必
要とする正しい情報や利用可能な社会資
源を伝え、関係機関を探し、つないでい
きます。



居場所づくり

居場所のない妊婦が安心して過ごすこと
ができるように、医・食・住を提供、利
用者一人ひとりのニーズに合わせた支援
活動を行ないます。

project HOME スペシャルサイトへ



研修・啓発

さまざまな視点から妊娠葛藤問題を考え
あうための研修・啓発活動を行なってい
ます。



調査・政策提言

妊娠葛藤相談窓口から見える社会課題解
決のために、研究者との共同研究、行政
府のヒヤリング協力、政策提言・要望書
の提出などを行なっています。

[にんしんSOS東京のサイトへ](#)

[にんしんSOS埼玉のサイトへ](#)

[にんしんSOSちばのサイトへ](#)

1. これまでの取組

NPO法人全国ひとり親居住支援機構



豊島区モデル 1



豊島区モデル 2

全国
ひとり親
居住支援
機構

母子ハウス運営者の
ための中間支援組織

Mother Port
マザーポート

母子家庭向け不動産
ポータルサイト運営



母子家庭向け移住
ポータルサイト運営

2. 現状・問題意識

1、居住支援の不足

若者、妊産婦、母子家庭に対する居住支援は、裾野が広がってきているとはいえ、総数としてはまだ少ない。持続可能な居住支援体制をいかに作ることができるかは課題であり、民間の努力のみでは難しいのが実情である。

2、物件との事業者の出会い

事業を実施するNPO、そして入居者にとって「必要な時」に「適切な物件」と出会える可能性は不確かであり、数年後を見据えた準備はより困難である。

3、事業の継続のためのNPO同士の柔軟な連携

居住支援は建築不動産を扱うため、初期費用も維持費用も大きな金額が必要であり、リスクも高い。そのリスクを資金的な耐力が乏しいいちNPOだけで負うのではなく、NPO同士のそれぞれの事情に合わせた連携のなかで活用するモデルが必要である。

3. 提案内容

【課題設定型・事業者提案型】

【当初数年間（3～5 年を想定）】

共同居住型空き家利活用
事業実績



母子・若者向けハウス
ポノハウス池袋本町1



母子・若者向けハウス
ポノハウス池袋本町2

全国
ひとり親
居住支援
機構

運営委託

 **Single's Kids**
母子・若者居住支援

借上

運営

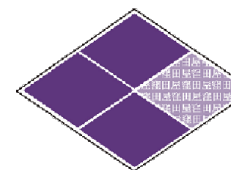
豊島区

共同居住型空き家利活用事業
空き家オーナーと事業者をマッチング



当該空き家

所有
改修



kubotaya
窪田屋商店

上廻
下廻

特定非営利活動法人



妊産婦居住支援

【ボタンタッチ後】



特定非営利活動法人

ピッコラーレ

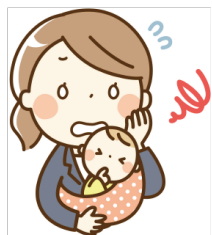
妊産婦等生活援助事業



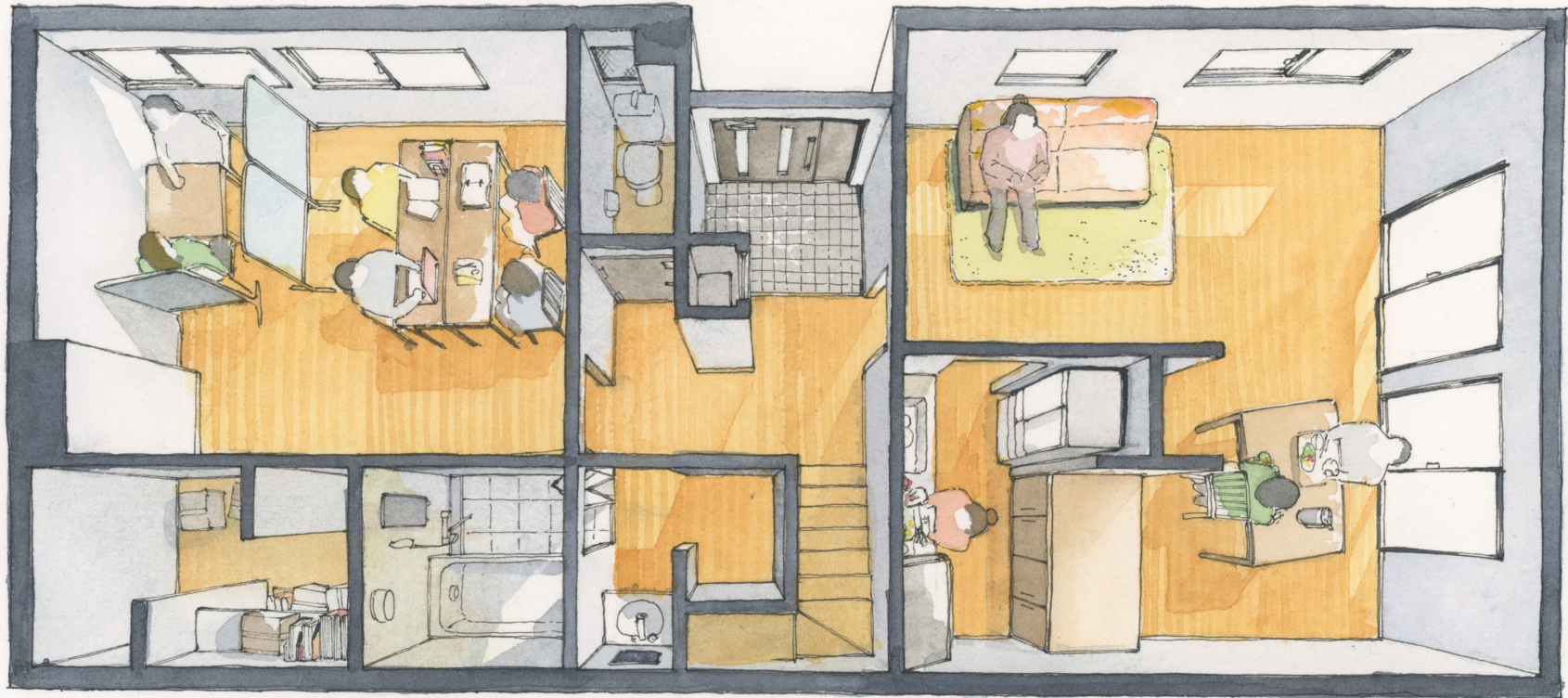
全国
ひとり親
居住支援
機構

SWIP

自立支援プログラム



3. 提案内容



3. 提案内容



4. 期待される効果

1、大家、NPO、自治体の協業モデル

本事業は、大家、自治体、NPOがそれぞれの立ち位置、それぞれの役割で協業をしている。

空き家活用をする上でスムーズに連携できており、他の自治体にも横展開できるモデルであると考ええる。

2、NPO同士の柔軟な空き家活用モデル

本事業により、複数のNPO間で、ひとつの空き家を活用する、ひとつの選択肢を示すことができると考える。

3、既存プロジェクトと連動したシームレスな居住支援

自治体、NPOの空き家活用の連携事例として、豊島区ではすでに2軒の母子ハウスがオープンしており、3軒目もオープン予定になっている。先行する3軒とともに、NPO同士の連携もシームレスに行うことができる居住支援を地域で展開できると考える。

5. 検証方法

先行する豊島区モデルの2件とともに、成果をまとめる

1、運営の収支をまとめ、公開

→母子ハウスの運営収支を公開している事例はない。
本プロジェクトも含め、運営の実態をモニタリングし、
レポートにまとめた上で、全面公開する。

2、NPO連携事例

→NPO間での連携事例のひとつとして、経緯と経過をまとめて、上記とともに公開する。